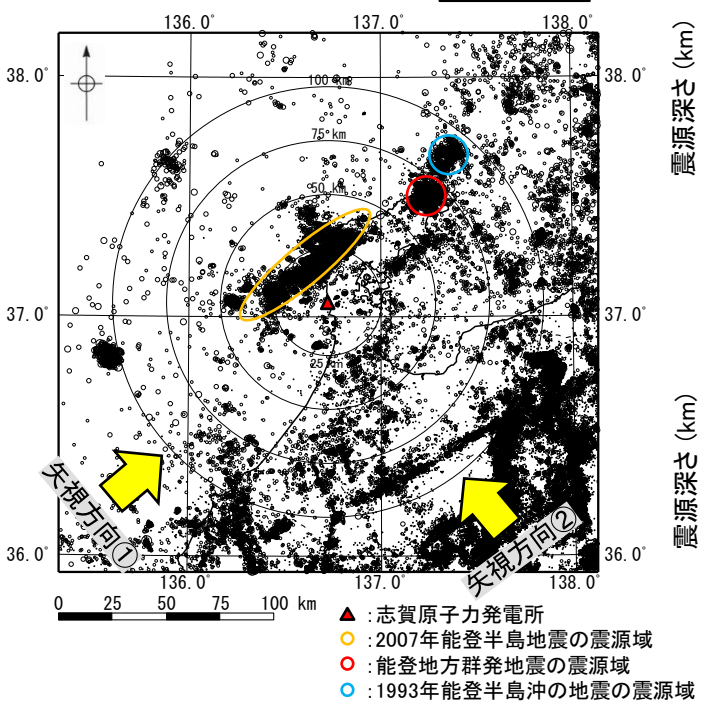


(5)能登半島周辺の地震の震源深さ分布(2/3)

- 能登半島周辺の地震の震源深さ分布を右図に示す。
- 矢視方向①の中心点から北西側の-10km~-30km程度の範囲及び矢視方向②の中心点から北西側の-35km~+40km程度の範囲に2007年能登半島地震の震源域に地震の集中がみられる。また、矢視方向②の中心点から北東側の+55km~+75km程度の範囲に能登地方群発地震の震源域に地震の集中がみられ、+75km~+90km程度の範囲に1993年能登半島沖の地震の震源域に地震の集中がみられる。2007年能登半島地震の震源域の震源深さは周辺に比べて浅い傾向が認められる。

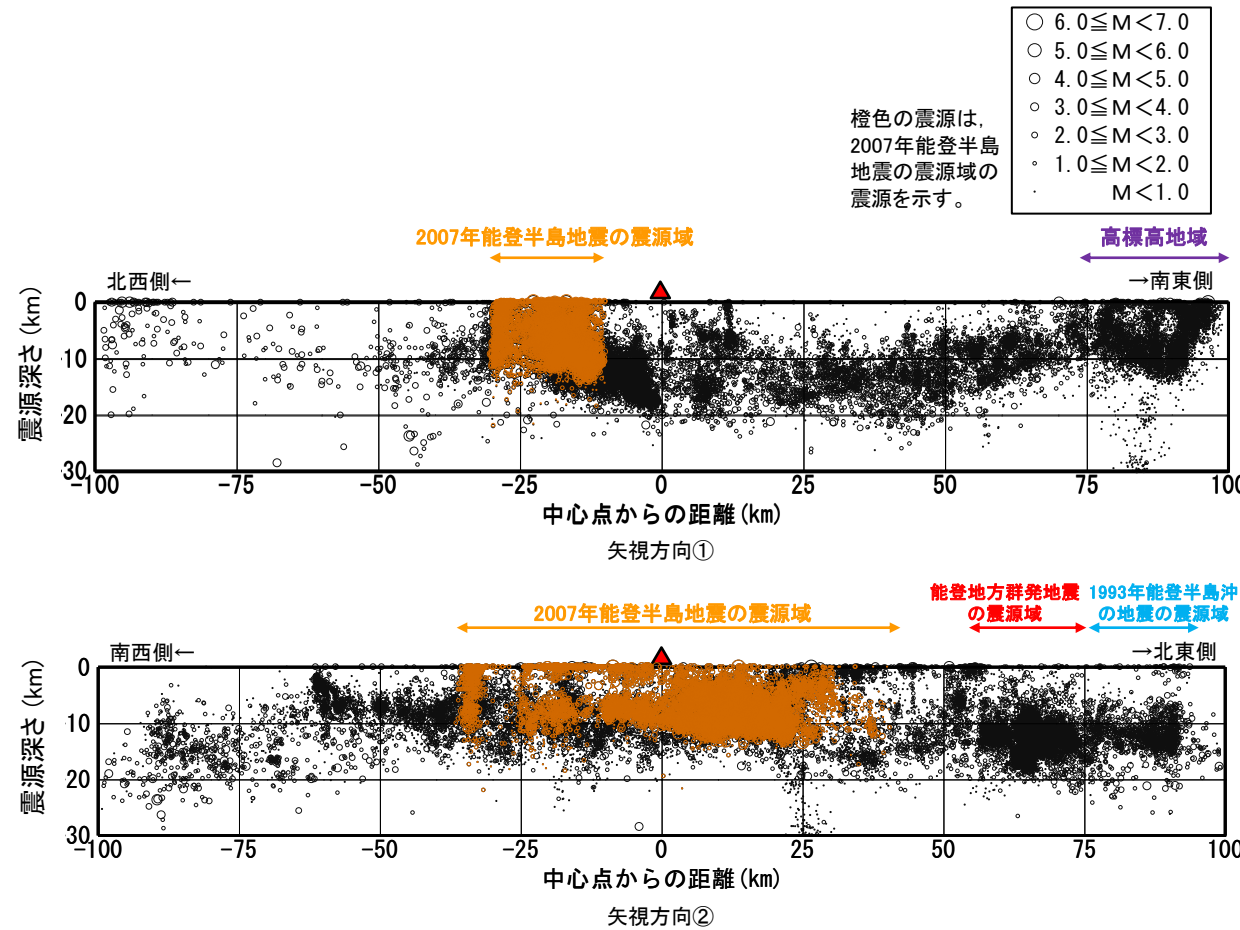
- $6.0 < M \leq 7.0$
- $5.0 < M \leq 6.0$
- $4.0 < M \leq 5.0$
- $3.0 < M \leq 4.0$
- $2.0 < M \leq 3.0$
- $1.0 < M \leq 2.0$
- $M \leq 1.0$

- $6.0 \leq M < 7.0$
 - $5.0 \leq M < 6.0$
 - $4.0 \leq M < 5.0$
 - $3.0 \leq M < 4.0$
 - $2.0 \leq M < 3.0$
 - $1.0 \leq M < 2.0$
 - $M < 1.0$
- 橙色の震源は、
2007年能登半島
地震の震源域の
震源を示す。



- ▲ : 志賀原子力発電所
- : 2007年能登半島地震の震源域
- : 能登地方群発地震の震源域
- : 1993年能登半島沖の地震の震源域

地震の震央分布図(1997年10月~2022年3月)



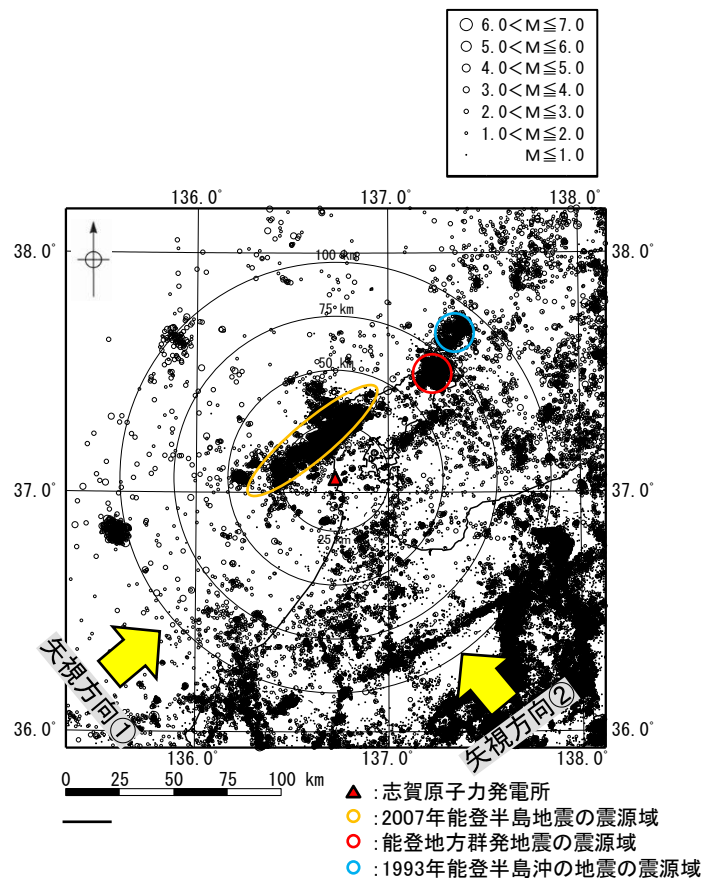
敷地から半径100kmの範囲

▲ : 志賀原子力発電所

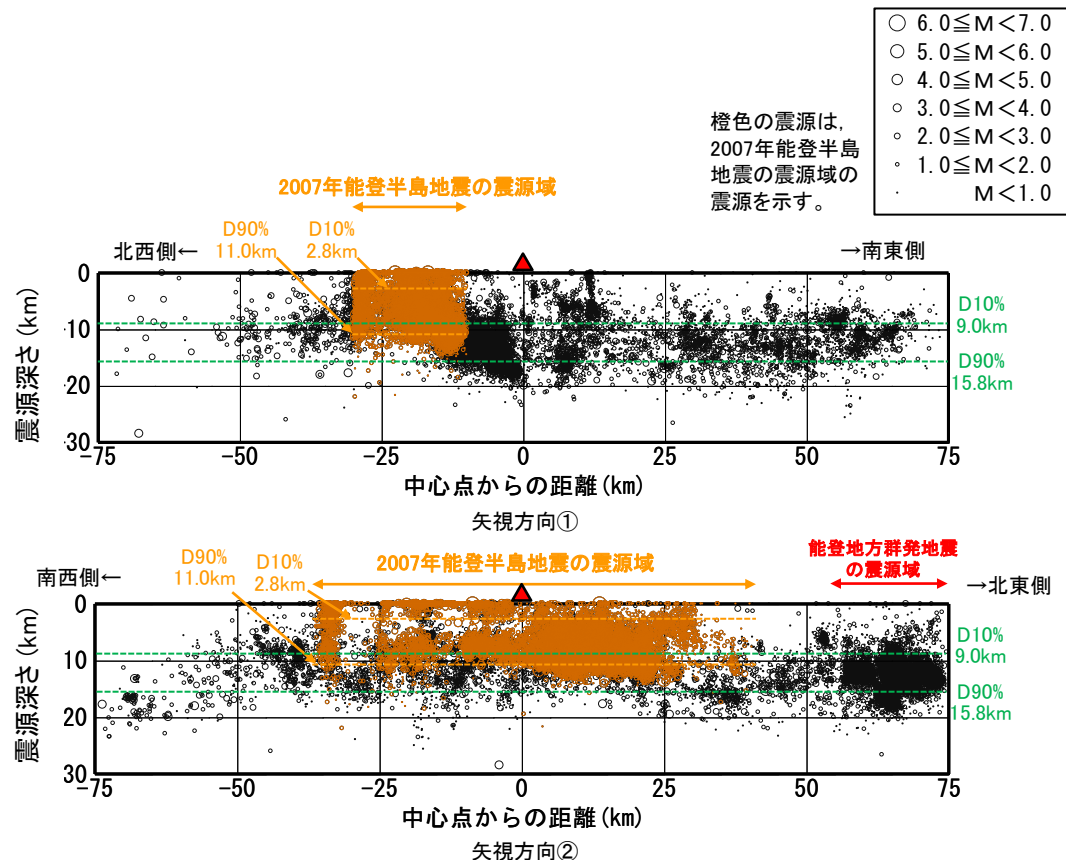
地震の震源深さ分布図(1997年10月~2022年3月)

(5)能登半島周辺の地震の震源深さ分布(2/3) -D10%及びD90%-

- また、2007年能登半島地震の震源域の震源深さが浅いことを定量的に確認するため、この震源域※及び能登半島周辺についてD10%及びD90%を求めた。なお、能登半島周辺のD10%及びD90%は、能登半島周辺の地震の震源深さの傾向を適切に評価するため、能登半島周辺と標高が大きく異なる高標高地域(敷地の南東方向に存在する山岳地形)が含まれない範囲として敷地から半径75kmの範囲とし、また、2007年能登半島地震の震源域を除く範囲とした。求めたD10%及びD90%を右図に示す。
- 2007年能登半島地震の震源域のD10%及びD90%はそれぞれ2.8km及び11.0kmとなり、能登半島周辺のD10%及びD90%はそれぞれ9.0km及び15.8kmとなる。



地震の震央分布図(1997年10月～2022年3月)



地震の震源深さ分布図(1997年10月～2022年3月)

※ 震央分布図中の楕円に概ね外接する四角形の範囲とした。

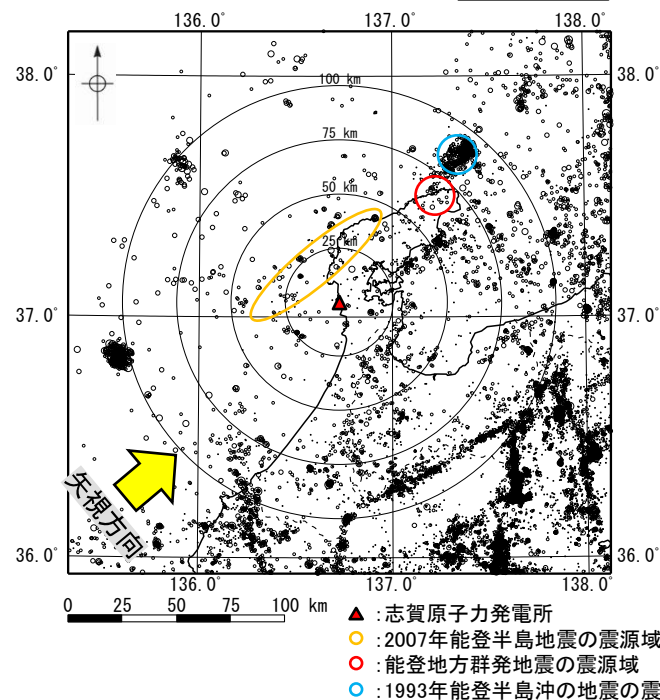
(5)能登半島周辺の地震の震源深さ分布(3/3)

- 前頁で認められた2007年能登半島地震の震源域の震源深さは周辺に比べて浅い傾向が、2007年能登半島地震発生日より前においても認められるか確認するため、当該地震発生日より前の地震の震源深さ分布についても同様に確認した。当該地震発生日より前の地震の震源深さ分布を右上図に示す。
- 当該地震発生日より前の地震の震源深さ分布は、前頁で確認した1997年10月～2022年3月の震源深さ分布と大局的には概ね同様、2007年能登半島地震の震源域の震源深さは周辺に比べて浅い傾向が認められる。

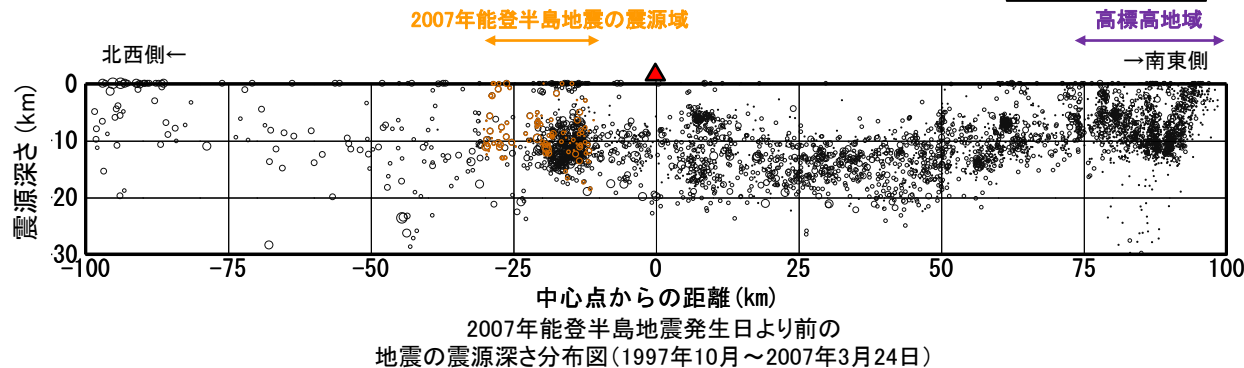
- $6.0 < M \leq 7.0$
- $5.0 < M \leq 6.0$
- $4.0 < M \leq 5.0$
- $3.0 < M \leq 4.0$
- $2.0 < M \leq 3.0$
- $1.0 < M \leq 2.0$
- $M \leq 1.0$

橙色の震源は、
2007年能登半島
地震の震源域の
震源を示す。

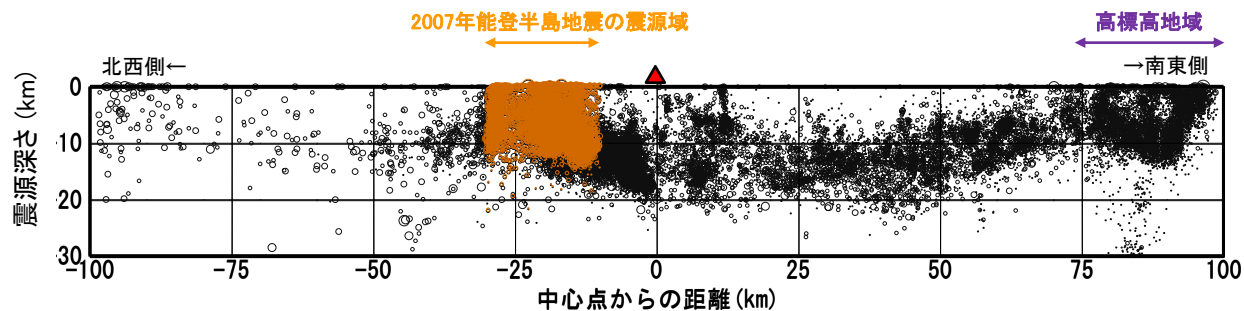
- $6.0 \leq M < 7.0$
- $5.0 \leq M < 6.0$
- $4.0 \leq M < 5.0$
- $3.0 \leq M < 4.0$
- $2.0 \leq M < 3.0$
- $1.0 \leq M < 2.0$
- $M < 1.0$



2007年能登半島地震発生日より前の地震の震央分布図(1997年10月～2007年3月24日)



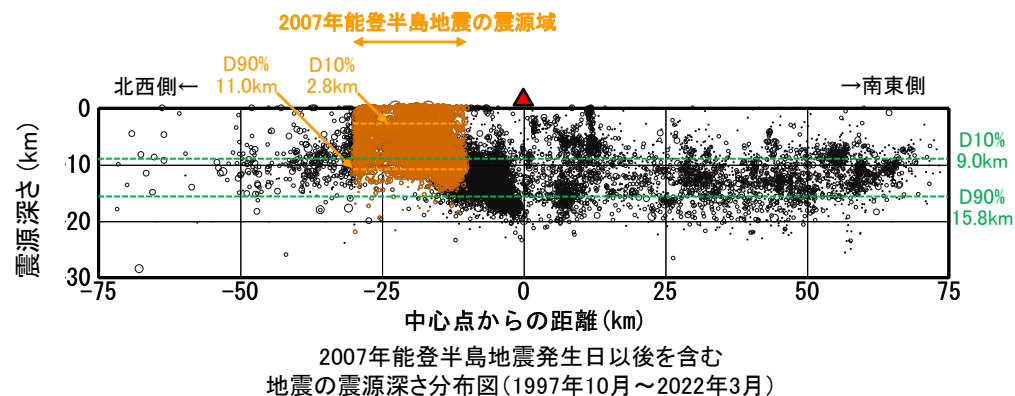
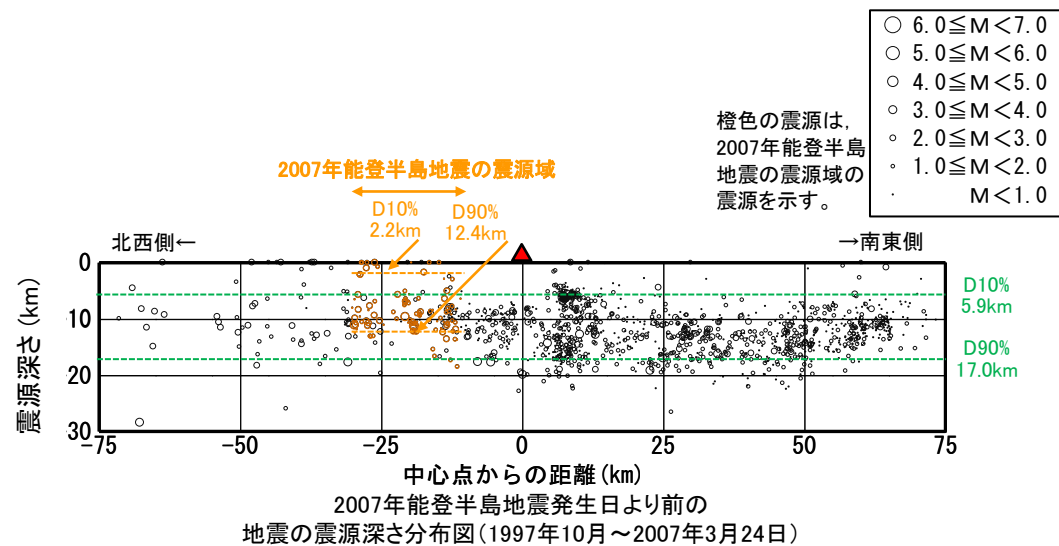
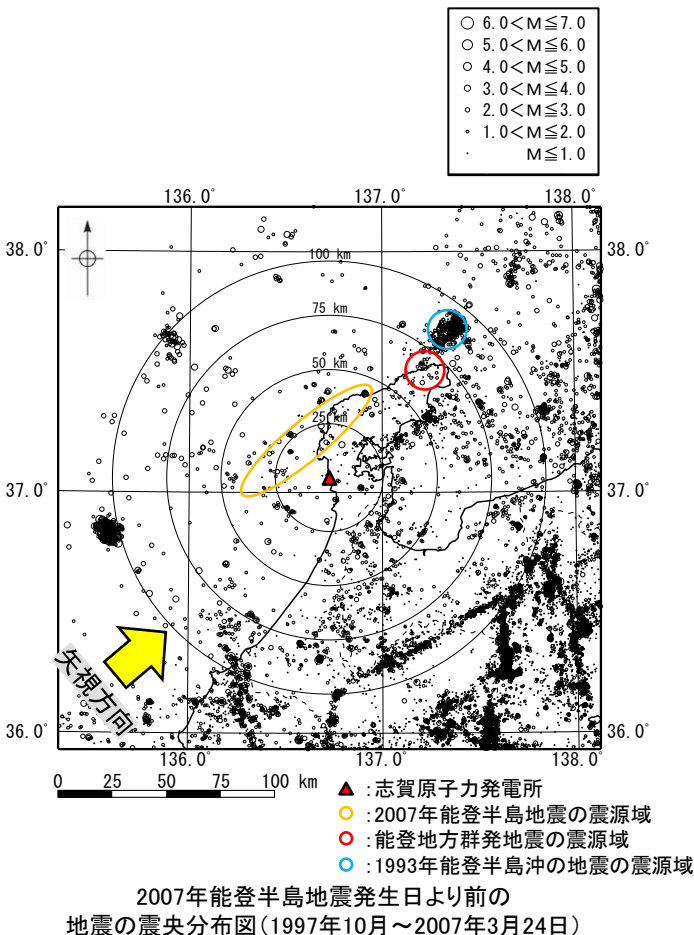
2007年能登半島地震発生日より前の地震の震源深さ分布図(1997年10月～2007年3月24日)



2007年能登半島地震発生日以後を含む地震の震源深さ分布図(1997年10月～2022年3月)

(5)能登半島周辺の地震の震源深さ分布(3/3) -D10%及びD90%-

- 2007年能登半島地震発生日より前においても、当該地震の震源域の震源深さが浅いことを定量的に確認するため、この震源域及び能登半島周辺についてD10%及びD90%を求めた。なお、ここでの当該地震の震源域及び能登半島周辺の範囲はP.244と同様である。求めたD10%及びD90%を右上図に示す。
- 当該地震の震源域のD10%及びD90%はそれぞれ2.2km及び12.4km、能登半島周辺のD10%及びD90%はそれぞれ5.9km及び17.0kmとなり、当該地震の震源域は、当該地震の発生日より前においても、周辺に比べて浅い傾向が認められる。



➤ 能登半島周辺の地震の震源深さ分布より、2007年能登半島地震の震源域の震源深さは、周辺に比べて浅い傾向が認められる。